

令和元年度 丹生高等学校 学校評価書

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
重点目標 1 中高一貫教育	全校で取り組むグループ課題研究の中で主体性や協働性を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ● 探究活動の取組、ふるさとに対する愛着心に関しては、9割以上が前向きに取り組み、肯定的な気持ちを持つことができている。 ● 探究活動の中で、地域と連携した取り組みが単発的に終わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、WGをつくって町内の各種団体と連携する計画を話し合っている。次年度は、年間を通じた連携で探究活動を行っていききたい。
	4中学校に拡大した中高一貫教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者の9割近くが、中高一貫での人材育成を肯定的にとらえている。 ● 魅力化のため、国際的視野獲得、探究活動の充実という視点から海外研修を設けたり、地域と連携した探究活動を模索したりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒確保のための情宣について、時期、内容、対象について中学校と連携しながら進めていききたい。
重点目標 2 教育課程・学習指導	わかる授業を通して、基礎学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT活用や授業展開の工夫により、ここ3年間80%前後を保っている。 ● 1年生普通クラスで、「わかる」ことに関してクラス間で差が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどのクラスで、「わかりやすい授業」が、「授業の理解度」と連動しているため、視覚化や個別化に視点をあて、授業の展開を工夫する。
	「NYU LIFE」を活用し、計画的な学習習慣を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習習慣に関しては、60%を切っただけではあるが、H29年度から順調に伸びている。 ● ルールを遵守して授業参加の比率も86.9%と、学習規律も確立されてきている。 ● 2年生、1年生普通クラスで学習習慣の確立が5割未満となっているクラスがいくつかある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「NYU LIFE」を活用しながら、新入生に対する学習指導を充実させるとともに、2、3年生についても年度のスタートで、学習習慣をつけさせる。
重点目標 3 生徒指導	校内での携帯電話のルールの周知を図り、自己管理能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ● 挨拶や時間を守る、身だしなみなどのマナー、ルールを守ることができた生徒が89.9%と高く、検査時の違反数も減少している。 ● 携帯電話に関するルールも、ほとんどの生徒が守っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「検査があるから整える」という生徒が一定数いるので検査期間内の指導のあり方を検討する。
	主体的、自律的な運営を柱として、部活動の活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ● 自主的に部活動に取り組めた生徒が86.8%と、生徒の意識も十分高く、保護者からも生徒が主体的自律的に部活動運営を行っているとの評価がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 部活動の統廃合を推進し、顧問・部員数に余裕の持てるようにしていく。 ● 部紹介の在り方を改めて検討し、さらに新入生への働きかけを各部活動で積極的に行うよう指導する。

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
重点目標 4 進路指導	主体的に自らの進路を考え、行動する意欲や態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 進路学習が整備されていると回答した保護者の割合が84.6%と目標の80%を上回った。 ● 進んで進路情報を収集したと回答した生徒の割合が69.6%と目標の80%を大きく下回った。特に1年生では53%とかなり低くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 進路意識が高まる3年生では、進んで進路情報を収集したと回答した生徒は88.8%と高率になることから、低学年より進路意識を高め具体的な進路先のイメージが描けるような進路指導をしていきたい。
	研修会や各種資料を改善し、進路情報の周知に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の進路を保護者と相談しているという生徒の割合が81.3%と目標の80%を上回るとともに、昨年度よりも若干数値が上昇した。 ● 本校では保護者に対する研修会等を通じて、十分な進路情報の提供に努めていると回答した教員の割合が74.2%と昨年度より13%あまり減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校から進路情報を受けていると回答している保護者は80%を超えているため、進路指導部だけでなく、他の教員にも保護者会等で保護者に情報提供できるような資料等の工夫をしていきたい。
重点目標 5 保健管理・教育相談	年間を通して心身ともに健康的に生活する意識や態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 歯科検診の結果を踏まえてう歯の治療促進のために福井歯科専門学校の学生による講習会を実施し、治療率が向上した。 ● 1年生の普通クラスの生徒に対する個別の健康管理意識が低下しているため、特に新入生に対しての意識付けを行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康管理の意識付けを行うために「健康管理シート」を作成し、身体測定時や学期末に自分の健康管理目標や状況を記入させる。 ● 来年度にう歯治療促進講習会を予定する。
	危機管理マニュアルを改訂し、安全で安心な教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学級経営の一環として教室内の環境整備、活発な清掃活動が進んでおり、教員が指導する場が減ってきている。 ● 今年度、危機管理マニュアルの改訂が行われさまざまな危機対応の備えができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教室内だけでなく、階段・廊下の隅々の埃除去の徹底を図る ● トイレットペーパーの無駄遣い防止と更なる美化活動のため、ポスター設置など保健委員会と美化委員会の活動を活発にする。
重点目標 6 読書指導・情報管理	書架配置リニューアル、図書委員会活性化、書評発行増を通して、貸出冊数・貸出者数を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ● 読書冊数増加の割合が3.7%増加した。また、図書情報部の読書指導について教員・保護者の評価が上がった。 ● 読書冊数の「増加」を求めているため、ひととき低い数値になっている。また、教員全体で読書指導にあたる雰囲気年々低下している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 読書冊数については「維持・増加」の生徒を把握し、減少した生徒の指導を検討する。また、教員全体での読書指導の方策を検討する
	HPの構成をユーザビリティとアクセシビリティの観点から見直し、より情報を探しやすいHPをめざす	<ul style="list-style-type: none"> ● HPの更新を行事のたびごとにこまめに行い、生徒からは昨年並みの高い評価が得られた。 ● 教員・保護者からの評価が若干下がったのは、昨年度のリニューアルの反動と思われる。その分を差し引いても高い評価が得られていると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● HP更新のお知らせを緊急メール網を活用して行うなど、保護者・教員向けの広報PRを積極的に行う。